山岳救助訓練を実施しました。

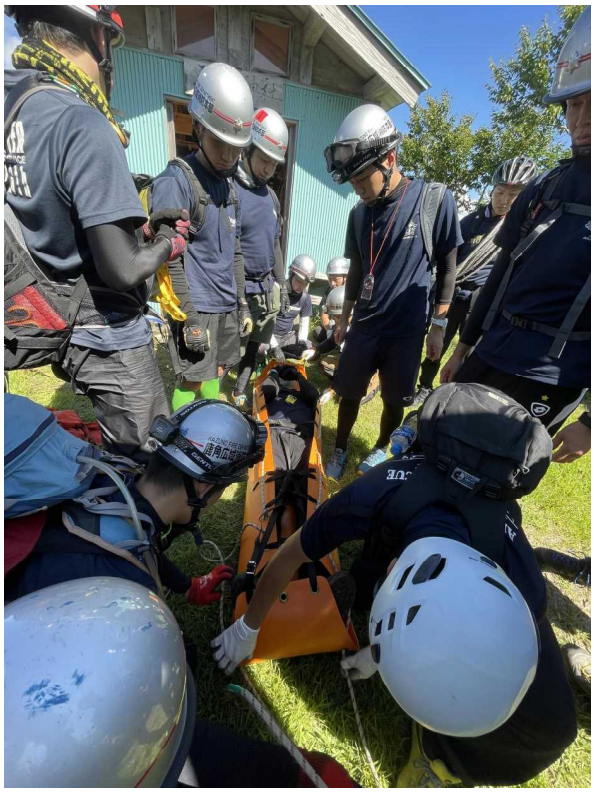
令和３年８月１８、１９日の２日間にわたり、山岳救助訓練を実施しました。
この訓練は、山岳で発生した救助事案に対応するため、登山を通じ、救助隊に必要な体力の向上や、要救助者の搬送方法及び山岳救助資器材取扱いの習熟を目的として実施し、救助隊員を目指す職員も参加しました。

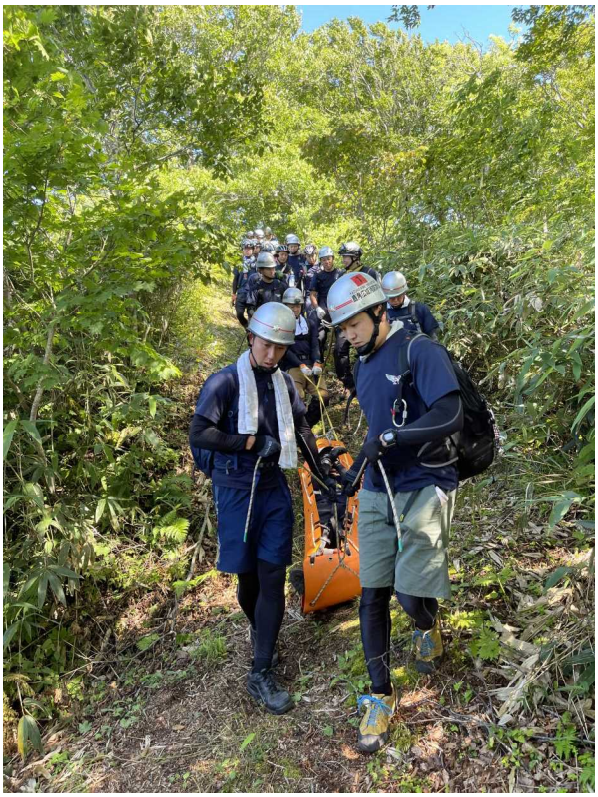
国土地理院　地形図

訓練場所は八幡平にある標高１１１５mの「五ノ宮嶽」で行われました。
２合目からスタートして、標高差約７７０m、片道約３．５ｋmの道のりを登山しました。

〈訓練内容〉
・簡易担架での搬送（両手で支えられるように取っ手に小綱を結んで搬送）

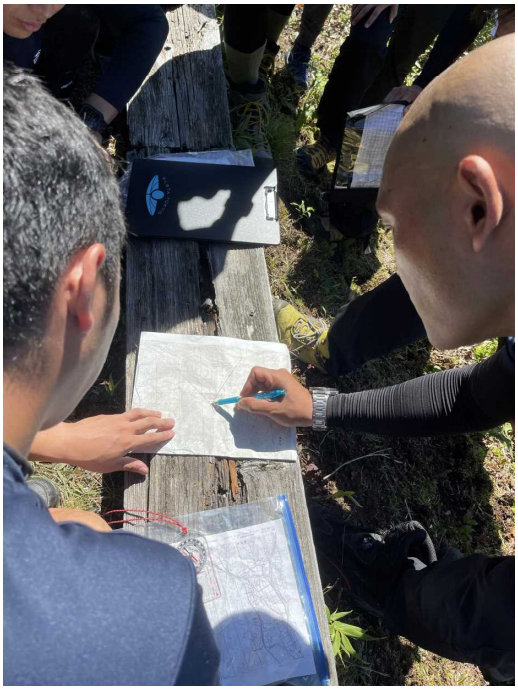
・フルスケッドストレッチャーでの搬送





・登山用コンパスを使用した現在地の特定要領の確認。

地形図と比較して目印となる山頂を探している様子。



登山用コンパスを使用して、目印とした山頂の角度を求めて地形図に線を引いている様子。

・山頂での無人航空機（ドローン）飛行テストを実施。　　五ノ宮嶽山頂の空撮

２日間とも天候に恵まれ、怪我もなく無事に訓練を終えることができました。
まもなく秋の紅葉シーズンを迎え、登山者が増える時期を迎えます。
「最悪の事態を想定して最高の備えをする」
守るべき笑顔のために、私たちはこれからも訓練に励みます。